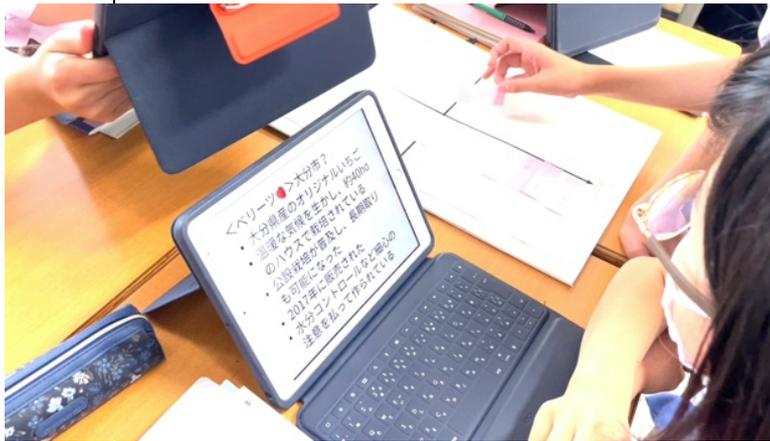


総合的な学習の時間 6年

単元名（小単元）：今年度の総合的な学習の時間の学習材を決めよう

本時のねらい	今年度の総合的な学習の時間の学習材について、思考ツールを選択し、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考えることを通して、より自分たちの願いに合ったものを選ぶことができるようにする。
評価規準	今年度の総合的な学習の時間の学習材について、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考え、選んでいる。
具体的な児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」で大分県の特産品を調べ広めることは、大分の人は大分のよさを再確認できるし、県外の人は大分に来てみたいと思ってくれるから、他の学習材に比べて「大分の人のためになる」という視点に合うな。 ・南海トラフ大地震が来ると予想されている今、「防災」はどの学習材よりも喫緊の課題であり、「身近なもの」という視点に合うな。

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 ◎評価（方法） ※支援を要する児童への手立て	準備物
10分	1. 本時の学習のめあてを立て、解決の見通しを持つ。	○これまでの学習を振り返り、今年度の総合的な学習に対する願いを確認することで、本時の学習のめあてと解決の見通しをもつことができるようにする。	
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 今年度の総合的な学習材を班で1～3つにしぼろう。</div>			
25分	2. グループで話し合い、視点に沿って自分たちの願いに合う学習材を1～3つにしぼる。	<p>○視点に沿って学習材の特徴を比べたり条件付けたりすることで、より自分たちの願いに合う学習材をしぼっていくことができるようにする。</p> <p>・視点に沿って学習材をしぼっていく話し合いに適した思考ツールを班ごとに選ぶことができるようにする。</p>	思考ツール（マトリクス・ピラミッドチャート、座標

			軸など)
10分	3. 本時の学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの途中で中間指導を行う。学習材を選び抜く際の困りを共有し、困りを解決するための案を出し合う。また、学習材を選び抜くための決め手がないという困りから、もう一つの視点を全員でつくる。 <p>◎今年度の総合的な学習の時間の学習材について、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考え、選んでいる。 〈発言分析〉</p>	
		<p>◎次時の学習材の決定に向けて、本時の話し合いをもとに学習材についての考えをまとめるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分はどの学習材が適しており、なぜそう思うのか理由を明確にししながら自分の考えを記述するようにする。 <p>◎より適していると考える学習材について、グループで話し合ったことをもとに理由づけながら記述している。 〈記録分析〉</p>	

1人1台端末の活用は効果的であったか

- それぞれが情報収集したことを文字や写真でロイロノートにまとめ話し合いに臨んだことで、実際に写真を見せたり、素早く資料を取り出したりしながら自分の考えを伝えることができるため、情報の出し合いのスピードや量において効果的であった。
- ▲信頼性の低いHPの情報そのままコピーペーストし伝える姿が見られた。インターネットを用いて情報収集をする際には、信用できる情報か吟味しながら活動する必要がある。